

先生各位

受託中止項目および検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記のとおり受託中止項目および検査内容変更のご案内をさせていただきます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 受託中止項目

《最終受付日》 平成 28 年 6 月 4 日（土）まで受託

《中止項目》

◎ 受託数僅少

2016年 総合 検査案内	検 査 コード	検査項目名称	代替項目
P.69	0876	カンジダ抗原定性	カンジダ抗原半定量 【検査コード 3996】
P.70	1409	梅毒半定量 FTA-ABS法 IgM	梅毒定性 FTA-ABS法 IgM 【検査コード 1403】

◎ 保険未収載

2016年 総合 検査案内	検 査 コード	検査項目名称	代替項目
未掲載	0148	ACP（酸性フォスファターゼ） 血清	なし

◎ 保険点数廃止

2016年 総合 検査案内	検 査 コード	検査項目名称	代替項目
未掲載	0150	PAP（前立腺酸性フォスファターゼ）	PSA（前立腺特異抗原） 【検査コード 1273】
	0267	遊離脂肪酸（NEFA）血清	なし

● 検査内容変更

《変更日》 平成 28 年 6 月 6 日 (月) 受付分より

《変更内容》

2016年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.33	7052	アルドステロン/レニン活性比 ●アルドステロン：9893 随時：9894 臥位：9895 立位：9896 ●レニン活性：7054 臥位：9907 立位：9897	検査方法	レニン活性：RIA二抗体法	レニン活性：EIA法
			基準値	レニン活性： 臥位0.3~2.9 立位0.3~5.4 ng/mL/hr	レニン活性： 臥位0.2~2.3 ng/mL/hr

《補 足》

- 「7052」を依頼すると、従来は「2553：アルドステロン」が依頼されましたが、今後は「9893：アルドステロン」が依頼されます。
- レニン活性は、基準値コードの「臥位：9907」、「9897：立位」を新設致します。

2016年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.66	0803	抗ストレプトキナーゼ抗体 (ASK) 半定量	項目名称	抗ストレプトキナーゼ抗体 (ASK)	抗ストレプトキナーゼ抗体 (ASK) 半定量
			所要日数	4 ~ 7日	2 ~ 4日
			基準値	成人 (9899) : 2560倍未満 小児 (9900) : 5120倍未満	1280倍以下
			最小報告値	20倍未満	40倍未満
			最大報告値	設定なし	20480倍以上
P.69	3996	カンジダ抗原半定量	項目名称	カンジダ抗原	カンジダ抗原半定量
			検体量	血清 0.4mL	血清 0.3mL
			所要日数	4 ~ 6日	2 ~ 4日
			基準値	カンジダ抗原 (9898) : (-) タイター (3996) : 2未満	(-) 2倍未満
			単位	なし	倍

《補 足》

- 判定結果印字用コードとしてカンジダ抗原 (9898) を新設し、検査コード (3996) の名称をタイターに変更します。

2016年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.70	1401	梅毒定性 FTA-ABS法	検体量	血清 0.3mL	血清 0.5mL
			所要日数	4 ~ 7日	3 ~ 5日

2016年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.70	1401	梅毒定性 FTA-ABS法	基準値	陰性	(-)
			報告形態	陰性、判定保留、陽性	(-)、(±)、(+)

《補 足》

・ABS-5 (1407) 及びABS-20 (1408) での報告は中止になります。

2016年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.70	1402	梅毒半定量 FTA-ABS法	検体量	血清 0.3mL	血清 0.5mL
			所要日数	4 ~ 7日	3 ~ 5日
			基準値	陰性 (20未満)	(-) 20倍未満
			報告形態	半定量値のみ報告	判定と半定量値を報告
	1403	梅毒定性 FTA-ABS法 IgM	所要日数	5 ~ 9日	3 ~ 5日
			基準値	設定なし	(-) 20倍未満

《補 足》

「1403 梅毒定性 FTA-ABS IgM」について

- ・5倍希釈 (1730) 及び20倍希釈 (1731) の結果のみ報告致します。
- ・血清希釈倍数5倍と20倍の蛍光輝度 (-、±、1+、2+) を報告致します。
- ・総合判定結果は、6ページに掲載の判定表をご参照ください。

2016年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.98	2019	プラスミノーゲン活性	検体量	血漿 0.5mL	血漿 0.3mL
			所要日数	4 ~ 6日	2 ~ 4日
			検査方法	合成基質法	発色性合成基質法
			保存条件	必凍	凍結
			基準値	71~128%	80~130%
			最小報告値	10%未満	設定なし
			最大報告値	151%以上	設定なし
			備考	採血後、速やかに血漿分離し凍結保存	
P.99	2024	PIC (α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)	所要日数	4 ~ 6日	3 ~ 9日
			検査方法	LPIA	ラテックス凝集反応
			保存条件	必凍	凍結
			基準値	0.8 μ g/mL未満	0.80 μ g/mL以下

2016年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.99	2024	PIC (α ₂ プラスミンインヒビター・ プラスミン複合体)	報告形態	小数点第1位	小数点第2位
			最小 報告値	0.1 μg/mL未満	0.50 μg/mL以下
			最大 報告値	40.1 μg/mL以上	設定なし
			備考	採血後、速やかに血漿分 離し凍結保存	
P.100	2005	凝固第Ⅷ因子	所要日数	4～8日	2～4日
			検査方法	LA (ラテックス凝集比濁法)	ラテックス凝集反応
			保存条件	必凍	凍結
			最小 報告値	10%未満	3%以下
			最大 報告値	201%以上	設定なし
P.105	3372	一般細菌 塗抹鏡検	所要日数	2～4日	1～3日

※ その他の検査内容に変更はございません。

◎ 梅毒定性FTA-ABS法 IgM (1403) 判定表

1:5 (5倍希釈)	1:20 (20倍希釈)	判定
2+ ~ 1+	2+ ~ 1+	陽性
1+	± ~ -	±
±	± ~ -	陰性
-	-	

《変更理由》 検査体制見直しのため